

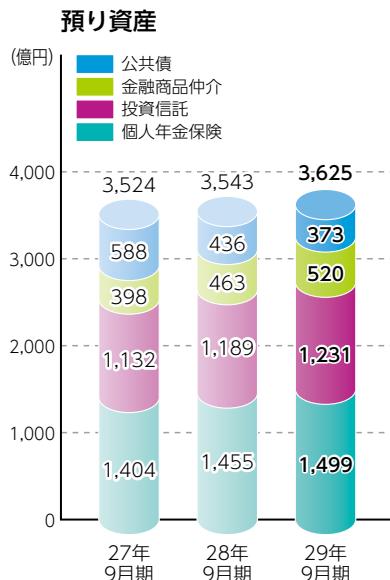
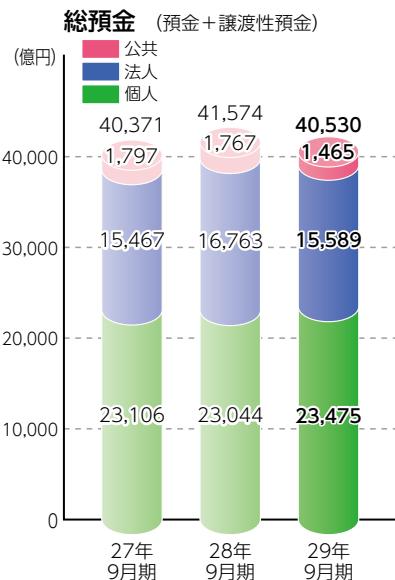
業績ハイライト

総預金・貸出金等の残高推移

総預金等

個人預金は増加しましたが、法人及び公共預金が減少したことにより、当中間期の総預金残高は、前年同期比1,044億93百万円減少して4兆530億1百万円となりました。

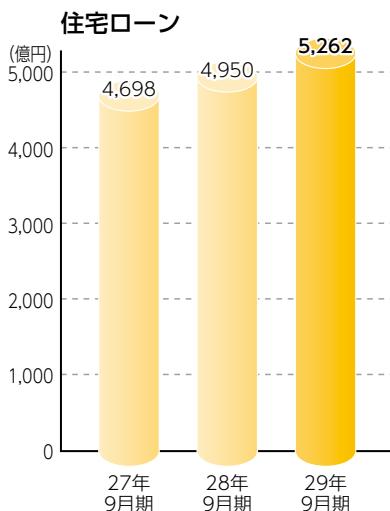
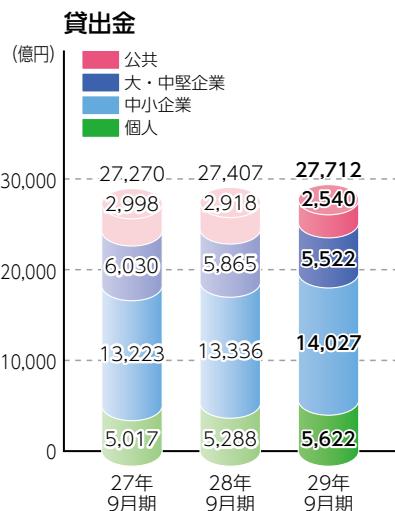
また、預り資産残高は、公共債は減少しましたが、投資信託、個人年金保険、金融商品仲介の増加により、前年同期比81億27百万円増加し、3,625億10百万円となりました。



貸出金

大・中堅企業向け及び公共向け貸出金は減少しましたが、中小企業及び個人向け貸出金が増加したことにより、当中間期の貸出金残高は、前年同期比304億63百万円増加して2兆7,712億54百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当中間期の住宅ローンの残高は、前年同期比312億25百万円増加し、5,262億70百万円となりました。



業績の推移

コア業務純益は、金融派生商品収益の増加などによるその他業務利益の増加などにより、前年同期比4億49百万円増加して74億45百万円となりました。

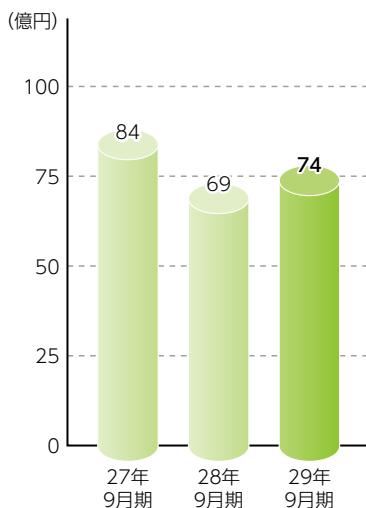
経常利益は、債券関係損益の減少などにより、前年同期比12億57百万円減少して78億92百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比5億81百万円増加して53億96百万円となりました。

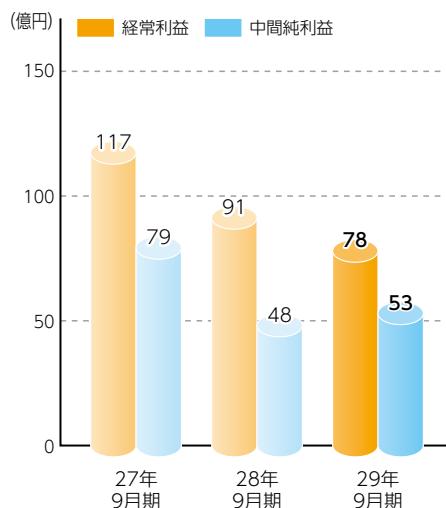
*コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益(資金利益 + 受取手数料など) - 経費
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

コア業務純益



経常利益・中間純利益



香川県内シェア

(平成29年9月30日現在)

